

# 平成24年 迎春



大村市長  
松本 崇

## 新年のごあいさつ

謹んで新年のごあいさつを申し上げます。日頃から市政に対し温かいご支援・ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

昨年3月11日には、未曾有の大災害である東日本大震災が発生しました。被災地の一日も早い復興を願い、本市も延べ69人の職員の派遣や救援物資・義援金をお送りするとともに、避難住民の受け入れなどの支援を続けています。

昨年、市では皆さまのご支援のお陰をもちまして、7月には日特エンジニアリングの誘致決定、8月には第24回FIBAアジア女子バスケットボール選手権大会の開催、11月にはSG第14回チャレンジカップの開催と九州新幹線西九州ルート・鈴田トンネル貫通など、多くの成果があった二年でした。

今年2月11日に、大村市は市制施行70周年を迎えます。大村町と萱瀬・福重・松原・三浦・鈴田村の二町五村が合併し、昭和17年2月

11日、人口約8千人の大村市が産声をあげました。先人たちの努力によって本市は発展を続け、人口は昨年10月末で約9万3千人となり、県内で唯一、人口が増加している市として着実に発展しています。長崎空港・長崎自動車道に加え、九州新幹線西九州ルートの開通により全国でも注目すべき交通の要衝の地となります。

そこで、先人たちの功績に感謝し、未来へのさらなる飛躍を願い、本年1月から12月までさまざまな記念事業を行います。主なものとしては、2月26日にNHKのご自慢、4月27日の記念式典や、食の祭典、心に残る講演会、大村市マスコットキャラクターの制作などです。大村市の70周年を心から祝い、郷土に誇りを持ち、これからの飛躍の礎になることを祈念しています。

「市民が主役」、「対話の市政」を基本に、「福祉のまち日本二」、そして「日本で最も住みたくなるまち」を目指して全力を尽くしてまいります。本年も変わらぬご指導・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。皆さまにとりまして輝かしい一年となりますよう、心からお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。

平成24年元旦

大村市長 松本 崇



大村市議会議員  
辻 勝徳

## 新年を迎えて

謹んで新年のごあいさつを申し上げます。新春を迎えるにあたり、市民の皆さまには、日頃から市政にお寄せいただいております。ご支援とご協力に対し、心から感謝申し上げます。

昨年5月に議長に就任して初めての春を迎えたところでありますが、議会運営を行う立場となり改めてその責任の重さを痛感しているところであります。また、昨年実施された市議会議員選挙では、定数25人中、3分の1にあたる新人・元職を合わせて8人が新議員として参加されました。今後、市民の皆さまの声を的確に市政に反映させることが、私ども市議会の最大の責務であると考えております。

そこで、議会・議員の役割や責任を明確にするために制定した「議会基本条例」を検証するために昨年度に引き続き新メンバーで検証グループを発足させました。また、議員の資

質の向上を図るために設けている市政研究会の拡充を目指し、その運営を担う市政研究会運営部会を設けることとしました。加えて、地域経済の浮揚に欠かせない地場企業の振興を図るために「地場企業振興調査特別委員会」を設置しました。

今後も「市民と議会のつどい」を活用して、市民の皆さまの声を反映させるとともに、市と互いに知恵を出しながら、市政運営に努力していく所存であります。

財政状況は依然として厳しく、将来の見通せない生活環境であります。今後とも市民の皆さまの更なるご支援、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

この一年が皆さまにとつてすばらしい年でありますよう祈念いたしまして、新年のごあいさついたします。

平成24年元旦

大村市議会議長 辻 勝徳